



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

平田ロータリークラブ 週報 ~ No. 1818 (平成 23 年 11 月 10 日)



2011-2012 年度

国際ロータリー会長 / カルヤン・パネルジー
2690地区ガバナー / 伊藤 文利

会長 / 飯塚 詔夫 副会長 / 黒田 昌弘
幹事 / 堀江 卓男 会計 / 横野 良文

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

■例会プログラム■

例会日	卓話者	演題
11月10日	出雲市 副市長 河内 幸男 様	モノとサービスの違いを意識した産業振興
11月17日	出雲市 副市長 黒目 俊策 様	今後の出雲市の課題
11月24日	平田広域交番 所長 警部 毛利 美樹 様	島根県警察における基盤整備の基本構想について

■出席報告■

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正出席率
38	28	10(5)	84.85%	10/20 85.29 % 10/27 79.41 %

■欠席者■

来間 / 園山 / 桐原 / 石原輝 / 木村
(石原恵 / 山根 / 牧野 / 杉原邦 / 原光)

■来訪者■ なし

■メイクアップ■ なし

■次回例会受付当番■

(11月24日) 清原正幸 / 恒松克己 / 内田節夫

(12月1日) 桐原善行 / 山根章一 / 遠藤 栄

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう) ■

(出雲) (松江) 赤文字 例会変更

月	出雲中央	松江南
火	出雲	松江しんじ湖 12/20 12/27
水	大社	松江 12/21 12/28
木		松江東
金	出雲南 11/11 12/23・30(休)	

■会長挨拶■

島根県という名前が出来たのは明治4年(1871)11月15日「松江県」「母里県」「広瀬県」と隠岐が合併して出来た。明治9年に鳥取県を合併して、大島根県が成立したが明治14年鳥取県が復活して現域が確定した。現在の島根県は、旧出雲国、石見国、隠岐国の3つから成り立っています。この「島根県」という名前は出雲国の松江の地域が古来より「島根郡」と呼ばれてきて、その群名をとったといわれています。「島根県」という県名の与えるインパクトは大変弱いです。逆に全国的にみても「松江に行ってきた」とか「出雲に行ってきた」とはよく言われるが「島根に行ってきた」とはほとんど聞かれない。「島根郡」という名称は「出雲国風土記」に記されている。「島根」という県名にするのであれば「出雲県」としての方が全国での通り名もよいし、今の島根県のもつ印象も出雲県であったならもっと違う島根のイメージになっていたし、県の魅力は数倍高くなっていたに違いないとおもいます。

■幹事報告■

1. 例会変更

- 松江RC 12/21(水) 夜間例会
ビジター受付 12:00~12:30 ホテル一畑
- 松江しんじ湖RC 12/20(火) 夜間例会
ビジター受付 12:00~12:30 すいてんか

2. 休 会

- 松江RC 11/23(水) 祝日 受付 なし
" 12/28(水) 定款第6条により
ビジター受付 12:00~12:30 ホテル一畑
- 松江しんじ湖RC 12/27(火) 定款第6条により
ビジター受付 12:00~12:30 すいてんか

3. 一畑薬師マラソン大会実行委員長、牧野昭雄様より大会支援の御礼状をいただきました。

■委員会報告■

< 出席親睦 >

- ・加藤昇会員
- ・堀江卓男会員



■スマイル■

大島治 (本日のスピーカーに、出雲市 河内副市長をお迎えして、よろしく願い致します。)

飯塚大 (第33回の一畑薬師マラソン大会無事終了しました。当クラブにはご協賛いただきありがとうございました。ランナー参加の会員諸氏お疲れ様でした。11/12(土)~13(日)一畑薬師茶会のご招待券を用意させて頂きましたので宜しければ是非紅葉の山上へお運び下さいませ。)

恒松 (一畑薬師マラソン完走しました。)

加藤昇 (一畑薬師マラソン盛会おめでとうございます。原会員入賞おめでとうございます。)

持田 (一畑山に33年連続登ることができ、32回完走ができました。一畑薬師マラソンありがとうございました。)

原泰 (加藤昇会員さんのおすすめで一畑薬師マラソン大会に参加致しました。入賞するようにとの申し付けでしたので8位に入賞しました。スマイルさせていただきます。)

黒田 (申し訳ございません。本日は中途退席いたします。河内副市長、例会ご来場ありがとうございます。)

■スピーチ・例会行事■ 出雲市副市長・河内幸男様「モノとサービスの違いを意識した産業振興」



地域の絆を懐かしみ40日程で帰郷した。出雲は美しく可能性を秘めている。地方自治体の良さを生かし、意味のある情報の集約と発信をすべき。

農林水産省から出雲市副市長に。東京に家族を残し単身赴任中。福島県出身で東北大学卒。被災した両親をしばらく出雲に呼んで一緒に暮らした。しかし、両親は地